

受験番号	
------	--

令和4年度 千葉大学教育学部総合型選抜 適性検査

学校教員養成課程 小学校コース

【 注 意 事 項 】

1. 「解答始め」の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. この冊子は、表紙を除いて1ページです。問題冊子は切り離さないでください。
3. 指示に従って、この冊子表紙の指定の場所に受験番号を記入してください。
4. 解答用紙は3枚です。すべての解答用紙の所定欄に受験番号を必ず記入してください。記入漏れの解答用紙は採点できないことがあります。
5. 問題冊子及び、資料、解答用紙は試験終了時に回収します。持ち帰ってはいけません。

適性検査問題

資料を読んで、以下の設問に答えてください。

設問 A

1. 資料の p.5 の下線にある、次の漢字の読みを書いてください。 覚束（ ）ない
2. 資料の p.1 の下線部に「同じ「わかる」という言葉を使っている、これは生徒と先生とでまるで違うのではなかろうか」とありますが、生徒と先生でどのように違うと書いてありますか。
3. 資料の p.3 の下線部にある、外部進学生がかいた線分図とはどのようなものであったと考えられますか。外部進学生がかいた線分図を解答用紙の所定の欄にかいてください。
4. 上の設問であなたが解答した「外部進学生がかいた線分図」、資料の p.2 にある表 2・1 の「内部生と外部生の正答率」、図 2・1「問2の説明のためのタイル図」の3つを合わせて考えると、そこからわかることは何ですか。

設問 B

家や学校における、あなたのこれまでの経験を振り返って、「できる」だけでなく「なぜそうなるのか」まで考えたことについて説明してください。ただし、資料に載っている内容と類似したものは除きます。

設問 C

資料の p.5 の二重下線部に「・・・5, 6年の高学年になると、反対に「わからない」と「できない」という傾向が強くなってきます」とあります。あなたが、小学校高学年を担当する教師で、児童が「できる」だけでなく、「わかる」ことも目標とした授業をするとしたら、どのように教えますか。小学生に教えると想定して、1. 黒板に書く内容と、2. 教える内容や工夫等について記述してください。教科や教材は自由に設定して構いませんが、資料に載っている内容と類似したものは除きます。

資料

学籍番号

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

出典：銀林 浩 (2007). 算数・数学における理解
佐伯 胖 (編) 新装版『理解とは何か』(pp.42-47)
東京大学出版会

